

小中9年間のつながりはもとより、幼児期に育まれてきた学びの芽生えをいかに小学校の学習につなげていくかということを考えて授業を組み立てることが大切。これまでの経験を踏まえ、子供の思考力を育むことができる学習となるよう子供の豊かな表現を生み出す数学的活動の充実を追求したい。

(授業づくり講座No15参照)

「高知の授業づくり改革プランにおける『学力向上対策推進事業』授業づくり講座」では、新学習指導要領の趣旨理解から、算数・数学科を軸に授業づくりのプロセスを学び、組織的な授業改善を図ることを目指し、拠点校を会場に教材研究会・授業研究会及び事後研究会をセットにして実施します。今回は、高須小学校を会場とする第4回【授業研究会】(10月25日実施)における学びの様子を紹介します。

【提案授業】 第1学年「かたちであそぼう」 【授業者】 山本 愛美 教諭 (高知市立高須小学校)

提案の主旨
公開授業

～教材研究会での学びを踏まえて～

これまでの経験を踏まえて、本単元全体を通して、数学的な見方・考え方を繰り返し表現し合い、伝え合う活動を通して、無自覚に行っていたことを自覚できるようにし、図形についての感覚を豊かにしたいと考えました。



授業
リフレクション

異校種(保・小・中・高)の教諭が参加した授業リフレクションでは、資質・能力を育む授業のゴールに向けて子供が見方・考え方を働かせることにつながったのか、具体的な授業場面を捉えて意見交流を行いました。参加者からは、「子供が次々と発見したことを表現している姿があり、子供の表現を広げようとしていた。」「更に見方・考え方を働かせるためには「平らな形だから積み重ねやすい」などと子供が表現できるようにするとよかったのではないか」などの意見が出されました。



講師による
指導・助言

講師 高知県教育委員会事務局学力向上総括専門官(島根県立大学教授) 齊藤 一弥 先生

齊藤先生からは、授業のつくり方や課題の置き方について評価があり、更に子供が数学的な見方・考え方を働かせることができるための指導として、本事例をベースにした代案指導を実演模擬授業の形でご指導いただきました。



本実践を生かした指導 ～ねらいを実現するための見方・考え方の明示的指導～

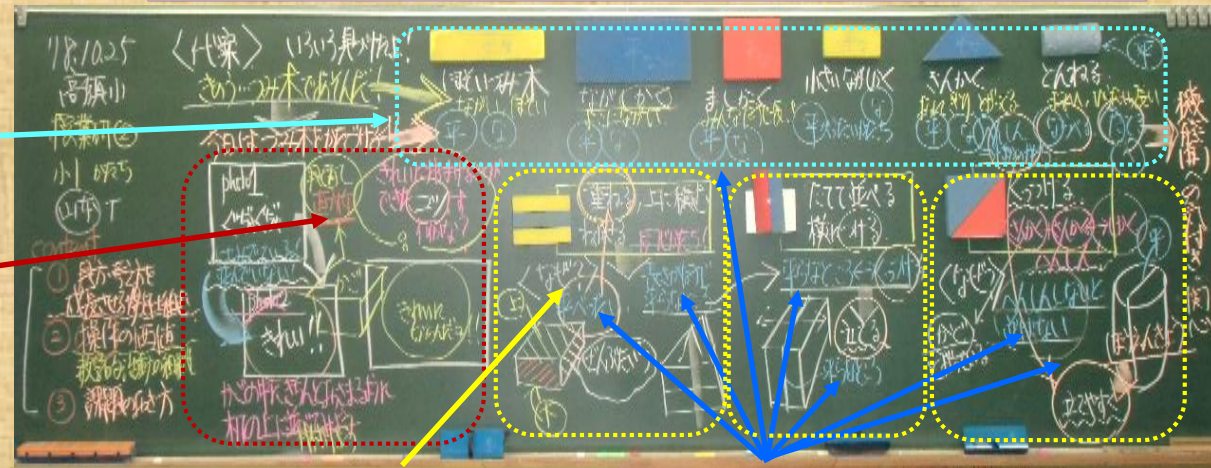


指導のポイント

☆ 学習過程を振り返り、どのようなことができるようになったかを子供が自覚する場を位置付ける。

指導のポイント

☆ 働かせたい数学的な見方・考え方に子供が着目できるような焦点化した問い(課題)を位置付ける。



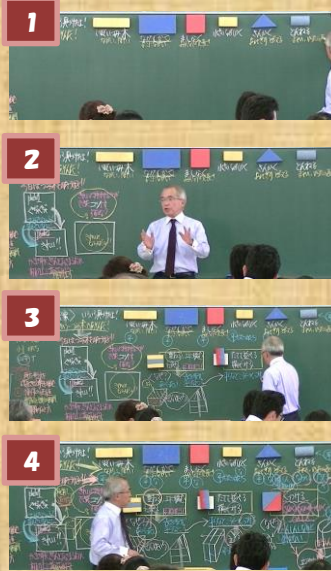
指導のポイント

☆ 操作の価値を捉えることができるように、なぜそのようなことができたかを問うことで形状面や機能面への気づきを引き出す。

指導のポイント

☆ 見方・考え方(形状と機能面への気づきや関心)を成長させる場を仕組み、繰り返し板書に可視化する。

【模擬授業形式での指導】



【参会者の感想】

- ・ 授業をつくるうえで柱となる課題の置き方や板書について大変勉強になった。見方・考え方は鍛えないと成長しないという示唆を胸に自身の授業実践を見つめ直したい。昨日と比べて、「ここができるようになったね」と子供に返せるような授業づくりに努めます。(小学校 教諭)
- ・ 授業は常に意図的・計画的に見方・考え方を成長させる場を仕組みないと、見方・考え方は勝手に成長するものではないという話が印象に残った。自分の授業でも意識していきたい。(中学校 教諭)
- ・ 子供たちが自ら考え活動していくための仕組みづくりなどは、他校種の授業を見させていただき、今日の講座はとても勉強になった。(県立高等学校)

今後の予定

日時 平成31年1月24日(木)
13:30～17:00
会場 高知市立潮江南小学校
内容 第4回【授業研究会】第5学年【分数のかけ算とわり算】
☆ 事前説明・公開授業・授業リフレクション・講師による指導

今が学びのチャンス!!
授業づくり講座で共に学ぼう!



「授業づくり講座」の日程及び他のレポートは、HPをご参照ください。